

意見交換会実施報告書

平成 30 年 12 月 19 日

登米市議会議長 及川 昌憲 様

第 5 班 代表者 八木 しみ子

1. 意見交換会の概要

開催日時		平成 30 年 10 月 18 日 午後 7 時 00 分 ～ 8 時 30 分
開催場所		豊里公民館 研修室
出席議員		代表者：八木しみ子 司会者：中澤 宏（座長兼務） 報告者：佐々木幸一（議会活動報告）、須藤幸喜（地域医療の現状報告） 記録者：須藤幸喜
参加市民数		9 人
実施内容	議会報告	・議会活動報告について ・財政状況について 30 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて ・常任委員会からの報告 ・登米市の地域医療の現状の報告
	意見交換	・『登米市の地域医療を考える』 地域医療の現状と方向性を説明 ・『豊里公民館及び総合支所周辺の開発と防災についての将来構想』

2. 市民の質問・意見等

会場 で 回 答 し た も の	質 問	(河川管理・道路整備) 1. 道路整備の優先順番はあるのか。 ⇒ 評価により整備の順位を決めている。 (地域医療) 2. 登米診療所医師確保に向けて署名活動も行われているが、医師の確保ができたならば再開する方向なのか。米谷病院の医師と看護師の見込みは立っているのか。(50床増えても) ⇒ 療養病棟の医師数は48床に1人となっている。他病床は40あるが、全部機能するわけではない。16人の患者に対して1人の医師で行われることから、32床で2名の患者を診るので3人体制による運営とした。さらに、常勤医師以外の応援医師を配備する方針である。 3. 市民病院がなぜ赤字なのかを調べたことはあるか。赤字の原因は。 ⇒ 豊里と米谷は各2億円の赤字、市民病院については7億円の赤字である。上沼診療所については1千万円の黒字である。 宮城東部医療圏構想によって、赤十字病院や大崎病院のような何にでも対応できる病院ができ、患者は高度医療を求め拡散する。 何よりも、市民に信頼されず、他市病院に患者が流れているから。
	意 見	(地域医療) 1. 「市民病院の評判が悪い」との風潮が出回っている。そのような口コミでの話が横行している。それでは患者が減るのは当たり前。 ⇒ 声があることは聞いている。意見として拝聴しておく。 2. 今の取り組みは良いと思われるが、現実には日赤と市民病院双方で拒まれた経験もある。地域医療をもう一度考え直してほしい。 (地域テーマ) 3. 支所脇のグラウンドは、野球場としての使用が極めて少ない。野球場としての機能だけではもったいない。半分は常設のグラウンドゴルフ、半分は駐車場用地の拡大にも検討されたい。全体を考えると、子どもからお年寄りまで集える場の提供が図られるのでは。 ⇒ 子ども園の建設計画がある。現在の保育園とふるさとセンターを解体して、都市計画では遊園地を建設する計画である。都市計画審議会では、そのような計画となっているし、地域の要望として十分な検討を行っていききたい。
	要 望	(地域テーマ) 1. 市で防災士を育成する考えはないか。石巻では一人40,000円かかるが、200万円の予算を組み、50人の方が受講している。岩沼市については、各行政区2人の方を養成している。さらに今年は富谷市でも行われているが、登米市の担当部署に聞いたところ、「防災指導員がいるので、防災士は必要ない」との回答だった。 登米市では、本当に防災士は必要ないのか。防災指導員の事業は2年で終わった。豊里地区でも取得者は少ない。 ⇒ 4年前にも一般質問で出た事案である。常任委員会でも出た。 「少数の防災士より、多くの防災指導員を養成していく方がいいのでは」という意見もあった。確認する。安全安心のため伝える。

	内容確認	(産業建設常任委員会報告) 1. オルレとはなんなのか。 ⇒「自然な景観の良い道を歩く」ということのようなのである。 直訳すると、家に帰る細い道ということらしい。
会場で回答していないもの	意見	(地域医療) 1. 豊里病院での出来事。90歳の父親を診てもらうために伺ったが、「かかりつけでないので他の病院に行け」という仕打ちを受けた。 ・合併前には、豊里病院は赤字でなかった。 (地域テーマ) 2. 高齢者を抱える人たちのことだが、地域包括センターと災害時の連携はとれているのだろうか。 3. 迫川堤防左岸(番江地域)は、大雨により川からの通水がある。町の時は対応してもらったのに、市に話せば「県へ」と言われ、県に言えば「市対応」と、我々は対応をどこに求めればいいのか。
	提言	(地域テーマ) 1. 我々の健康、安全、安心、住みよいまちづくりが最終のゴールとなると思うが、人と街をつなげるのにどうしたらいいかというと、一つのくくりとして、公民館、支所、子ども園がここにある予定であるし、病院もある。みんなが元気になる拠点としてできないかと考える。
	要望	(地域医療) 1. 看護体制についてだが、何十年も前の古い看護体制を行っている。例えばご飯を食べさせること。保育においても、古い踏襲されたものが行われている。議員は視察を行ってほしい。 2. ソニー通りの愛称があった道路だが、撤退した今、「未来いきいき通り」として活動を盛り上げていけないものかと考えている。ぜひ議会での応援をお願いしたい。 それを進める中で、前のソニーの駐車場(個人の土地)で、現在、畑となっている場所を市で買い上げていただき、小さな建物でも良いので、お茶が飲めるものとか、イベント時には駐車場としての活用とかが考えられないか。 3. ハザードマップができたが、豊里の我々はどこに逃げればいいのか。豊里には高い建物がない。多くのハザードマップにそれぞれの退避の情報が混雑しており、実際の現状に即したハザードマップはできないものか。 4. 豊里地区の危険個所の確認をすべきである。 5. ソニーの土地を市で購入できないか。 6. 行政の関係だが、亡くなった方にかかる手続き関係は、1カ所で何でもできる。何の手続きもできるような仕組みを取ってほしい。九州別府市では行われており、申請者が各場所を廻るのではなく、係が回ってくるような仕組みになっている。

その他 特記事項	
---------------------	--